

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 多剤耐性アシネトバクターアウトブレイクの対応に関する報告

[研究責任者] 7B 病棟 看護師 中村 みさ

#### [研究の背景]

アシネトバクター属菌は、一般的な環境に存在するグラム陰性桿菌です。近年、通常のアシネトバクター感染症の治療に使用する抗菌薬（広域β-ラクタム剤、アミノ配糖体、フルオロキノロンの3系統の抗菌薬に対して耐性を示す）がほとんど効かなくなっている菌の多剤耐性アシネトバクター（以下 *Multi-drug-resistant acinetobacter* : MDRA）の報告数が2011年の厚生労働省報告開始時の18人、2016年130人、2020年92人と全国的に増加しています。

MDRAの感染経路は接触感染です。接触感染は、直接ヒトに触れることや汚染された環境に触れることで病原体が体内に侵入して感染が成立するものです。接触感染を防ぐためには、手指衛生と適切な个人防护具使用の徹底と環境対策です。医療施設においては、集中治療領域、人工呼吸器管理や創感染を契機に感染の報告があります。湿った環境面だけでなく、医療器具表面に付着しやすく乾燥した環境面でも1~5か月生存可能の特徴の報告があり、医療従事者や医療環境、医療器具などにより伝播し、医療環境に定着した状態になると排除が非常に困難になると言われ、特に院内感染対策が重要です。

当院は、MDRAのアウトブレイクを経験し、病院全体で感染対策を検討し、現在も徹底した感染対策を継続しています。MDRAは全国的に増加傾向ですが、感染対策を経験した施設の研究報告は少なく、他施設から感染対策の相談を受けることがあります。このような経緯から、感染対策の資料としてまとめ、報告したいと思います。

#### [研究の目的]

多剤耐性アシネトバクターアウトブレイクへの取り組みをまとめます。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

西暦2018年12月から西暦2021年10月の間に長崎医療センターで多剤耐性アシネトバクターが検出された方

##### ●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦2027年3月31日

## ●利用するカルテ情報

年齢(年代)、性別、診療科、診断名、バイタルサイン(血圧、脈拍、体温)、臨床検査結果、治療、医療機器使用、ベッド配置場所、日常生活自立度(ADL)、感染症の治療、細菌検査結果、環境細菌検査結果

## ●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

## [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

## [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

看護部 7B病棟 看護師 中村 みさ

電話番号：0957-52-3121(代表)